

## 徳島県那賀川におけるカマヒレマツゲハゼの記録

鎗田めぐ<sup>1</sup>・山川宇宙<sup>2</sup>・小藤美樹<sup>3</sup>・井藤大樹<sup>4</sup>・清水孝昭<sup>5</sup><sup>1</sup>広島大学大学院統合生命科学研究科 <sup>2</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻  
<sup>3</sup>四電技術コンサルタント <sup>4</sup>徳島県立博物館 <sup>5</sup>愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Oxyurichthys cornutus* カマヒレマツゲハゼ (TKPM-P 7374) A : 生時, B : エタノール固定標本

## 種の記録

Gobiidae ハゼ科

*Oxyurichthys cornutus* McCulloch and Waite, 1918

カマヒレマツゲハゼ (写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P 7374)

1 個体, 標準体長 20.6 mm, 採集日: 2015 年 8 月 31 日. 採集場所: 那賀川河口左岸ワンド (徳島県阿南市中島).

## 種の特徴

標本個体は前鰓蓋部に棘がなく, 頭部正中線上の皮摺が低い隆起線状で, その前端は眼後縁に届かず, 尾鰭が後方に長く伸びる尖形で, 体に斜走帯がなく, 眼上に細長い皮弁があり, 体側背方に明瞭な多数の小黒点を有し, 胸鰭軟条の黒色点列が明瞭で多く, 第 1 背鰭の第 1 棘が糸状に伸長することが明仁ほか (2013) のカマヒレマツゲハゼの標徴と一致した. 第 1 背鰭の第 2 棘は伸長していないが, 山川ほか (2020) 同様, 小型個体であるためと考えられる.

## 備考

本種は熱帯—亜熱帯域を中心に分布し, 国内では千葉県から琉球列島にかけて記録されている (明仁ほか, 2013; 山川ほか, 2020). 徳島県では, 那賀川にて本種の記録があるが (国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所, 2017), この根拠となる標本が徳島県立博物館に収蔵されていたことから, 改めて登録標本に基づき報告する. なお, 同地点で本種として他

に 1 個体が採集されていたが (TKPM-P 7375), 標準体長が 15.7 mm とさらに小型で, 眼上皮弁が確認できないため, サルハゼ属の一種とした.

## 謝辞

生時の写真を提供して下さった国土交通省那賀川河川事務所に厚く御礼申し上げます.

## 引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索—全種の同定—, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347—1608, 2109—2211.
- 国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所. 2017. 第 5 回那賀川左岸堤防地震・津波対策事業環境回復モニタリング委員会資料. 国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所, 阿南. 48 pp.
- 山川宇宙・三井翔太・小田泰一郎・森田 優・碧木健人・丸山智朗・碧木健人・丸山智朗・田中翔太・斉藤洪成・津田吉晃・瀬能 宏. 2020. 相模湾およびその周辺地域で記録された分布が北上傾向にある魚類 7 種. 神奈川自然誌資料, (41):71—82.

(2023 年 5 月 31 日受付, 2023 年 6 月 2 日公開)

連絡先: 鎗田めぐ (e-mail: megyarita@gmail.com)  
(Meg Yarita, Uchu Yamakawa, Miki Kofuji, Taiki Ito and Takaaki Shimizu. 2023. Reord of *Oxyurichthys cornutus* (Gobiidae) from the Naka River in Tokushima Prefecture. NS Fieldnote, 23011)